



志木市長 香川 武文氏

## 市長のメッセージ

志木市では、志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）で掲げた「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」の実現に向けて、(1)市民の健康づくり、(2)子育て世代の定住促進、(3)暮らしやすさの向上、(4)魅力発信の4つのビジョンを中心とする「しき躍進計画35」の取組を進めています。

今後も、「選ばれる志木市」を目指し、まちづくりの先にある市民の皆様の笑顔を思い浮かべながら、一層のスピード感と柔軟な発想力を持って、力強く前進していきますので、志木市への応援をよろしくお願い申し上げます。

## はじめに

志木市は、埼玉県の南西部に位置し、東はさいたま市、西と南は朝霞市、新座市及び三芳町、北は富士見市に接している。面積は9.05km<sup>2</sup>で、全国でも6番目に小さな市だが、首都近郊25km圏内にあることから、人口の増加が続き、住宅都市として急速に発展してきた。現在の人口は7万6千人を超えている。

2022年7月19日に開庁・業務開始を迎えた志木市役所新庁舎は、旧庁舎と同様、新河岸川と柳瀬川に囲まれる地に立つことから、地震対策に加えて入念な水害対策が施された。過去の大規模水害を踏まえて床面の高さが設定され、浸水でダメージを受けないよう機械室や災害対策本部などは上層階に置かれている。

機能面では、関係性の高い窓口を集約して配置するワンフロアストップ方式が採用され、様々な手続きの簡素化・利便性の向上が図られている。



志木市役所新庁舎

## 志木いろはウォークフェスタ2023

志木市は、本年3月24日に「志木いろはウォークフェスタ2023 第8回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会」を開催した。

この大会は、日本を代表するノルディックウォーキング・ポールウォーキング関係団体の協力の下、「健康寿命の延伸」と「まちのにぎわい創出」を目的に、市民の団体が中心となって2015年度から開催されており、ノルディックウォーキング・ポールウォーキングとしては日本最大級のイベントである。

ノルディックウォーキング・ポールウォーキングは、北欧で誕生した老若男女、誰でも楽しめる、ウォーキングエクササイズである。ポールウォーキングでは、ポールを身体の前方に着地させ、バランス良く歩くのに対して、ノルディックウォーキングは、ポールで後方の地面を押し、推進力を生み出して歩くという違いがある。

普通のウォーキングでも、体脂肪の燃焼や心肺機能の強化など、健康の増進に役立つことが知られているが、ノルディックウォーキング・ポールウォーキングは、いずれもポールを使うことで、下半身だけでなく、上半身や体幹の筋肉も動かすため、より効果の高いエクササイズとして有効とされる。

今回の大会では、初心者にやさしい2kmから上級者向けの15kmまで4つのコースが設定され、参加者たちは、それぞれの体力などに合ったコースで、ポールを使ったウォーキングを楽しんだ。

## 志木市概要

人口(2024年5月1日現在)	76,194人
世帯数(同上)	36,598世帯
平均年齢(2024年1月1日現在)	46.4歳
面積	9.05km <sup>2</sup>
製造業事業所数(経済構造実態調査)	105所
製造品出荷額等(同上)	217.2億円
卸・小売業事業所数(経済センサス)	344店
商品販売額(同上)	636.6億円
公共下水道普及率	99.6%
舗装率	90.9%

資料:「令和5年埼玉県統計年鑑」ほか



## 主な交通機関

- 東武東上線 志木駅、柳瀬川駅
- 関越自動車道 所沢ICから市役所まで約7km
- 東京外環自動車道 和光北ICから市役所まで約7km
- 首都高速埼玉大宮線 浦和北ICから市役所まで約7km

## 市民会館と市民体育館の再整備

志木市の旧市民会館パルシティと市民体育館は、いずれも開設から40年以上が経過し、老朽化が進行するだけでなく、耐震性能の不足によって、施設の安全性も懸念される事態となっていた。

既存の建物の耐震改修や個別の建て替え等の対応策も検討されたが、最終的には旧市民会館の跡地に、新たに市民会館と市民体育館、二つの機能を複合した施設の整備が決定された。

新たな施設のコンセプトは、「志木市の未来と歴史文化を大事にし、市民に親しまれ、市民力を育む複合施設」であり、隣接する志木小学校と連携して地域の防災活動を担いつつ、賑わいの中心である志木駅前中心市街地と暮らしの中心となる市役所周辺をつなぎ、誰もが立ち寄りやすく、新たな賑わいと出会いが生まれる施設を目指している。

計画では、低層住宅の多い周辺環境や景観に配慮してコンパクトな佇まいとしながらも、旧市民会館の限られた敷地に市民体育館の機能を加えるための工夫が施されている。共用空間となる中央の「いろはみち」をはさんで、西側に舞台と客席を備えたホール、東側にアリーナが効率的に配置され、地下一階には柔道場や剣道場のほか、来場者用の駐車場も配置される。他にも、宴会や会議等の利用を想定する多目的のルームをはじめ、弓道場、卓球場、トレーニング室なども有する多機能な施設となる予定で、今から供用開始が待ち遠しい。

## 志木市広報大使カパル

志木市は、その中心部を新河岸川と柳瀬川、東側を荒川が流れ、豊かな水に恵まれている。川が身近だったためか、カッパにまつわる伝説が数多く残り、志木駅東口駅前広場をはじめ、市内各所に28体のカッパ像が置かれている。

市の広報大使で、志木市文化スポーツ振興公社の公式キャラクターであるカパルは、カッパをモチーフにしたキャラクターで、2018年のゆるキャラ®グランプリご当地部門で堂々の第1位に輝き、グランプリを獲得した。

市は、本年2月から6月にかけて、東横INN志木駅東口とコラボし、ホテル客室内にカパルがデザインされたシールを壁紙に貼り、カパルの特大ぬいぐるみを置いたコンセプトルーム「カパルの部屋」をオープンさせた。今後も、カパルと手を携えながら、市のイメージアップや認知度向上に向けた施策を展開していく予定だ。

(井上博夫)



東横INN志木駅東口のコンセプトルーム「カパルの部屋」